

## 第13回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

■ 日時：令和3年3月15日（月） 午後2時30分～午後4時00分

■ 場所：ビッグライフ滝沢大ホール

■ 出席委員（21名）（敬称略、順不同）

三河 孝司（滝沢市副市長）  
田村 清隆（岩手県交通株式会社）  
藤原 昌広（岩手県北自動車株式会社）  
山形 俊三（ジェイアールバス東北株式会社）  
伊藤 純（公益社団法人岩手県バス協会）  
佐藤 利樹（一般社団法人岩手県タクシー協会）  
大野 尚彦（一般社団法人盛岡地区タクシー協会）  
樋口 潤（岩手県交通労働組合）  
川村 尚雄（滝沢市自治会連合会）  
黒澤 明夫（滝沢市老人クラブ連合会）  
上野 幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）  
佐藤 光保（社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会）  
山口 恒司（滝沢市PTA連絡協議会）  
馬場 真也（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）  
小野寺 実（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）  
四戸 克枝（代理）佐々木 満（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）  
吉本 博之（東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）  
及川 得也（IGRいわて銀河鉄道株式会社）  
寺山 雄大（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）  
及川 竜悦（滝沢市都市整備部）  
宇佐美 誠史（岩手県立大学総合政策学部）

■ その他出席者

滝沢市長 主濱 了 他 事務局：10名 傍聴人：1名

## ■ 配布資料

- 第13回滝沢市地域公共交通会議 次第
- 滝沢市地域公共交通会議 委員名簿
- 第13回滝沢市地域公共交通会議 座席表
- 【資料1】網形成計画の施策への取組み状況について
- 【資料2】小さな交通需要に対応した交通サービスの検討
- 広報たきざわ6月15日号、10月15日号、12月1日号の写し
- チラシ『滝沢市公共交通回数券購入等補助金』
- IGRいわて銀河鉄道×滝沢市コラボクリアファイル（裏面に電車の乗り方記載）



## 1 開会 事務局

それではただいまから第13回滝沢市地域公共交通会議を開催いたします。

始めに本日の会の成立についてご報告申し上げます。本日の会議につきまして委員24名中代理の方1名を含めまして21名の皆様にご出席いただいております。よって滝沢市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定によりまして過半数に達していますので本日の会議が成立することを報告させていただきます。また当交通会議は要綱第6条第4項に基づきまして原則公開することとしています。後日会議の議事録をホームページに公開しますのでどうぞよろしく申し上げます。続きまして滝沢市長主濱了よりご挨拶申し上げます。主濱市長お願いいたします。

## 2 市長挨拶

どうぞ皆様こんにちは。滝沢市長の主濱了であります。第13回滝沢市地域公共交通会議の開催にあたりまして挨拶を申し上げます。委員の皆様には本日年度末のお忙しい中本会議に出席を賜り誠にありがとうございます。また日ごろから本市の市政運営にご協力頂きまして本当にありがとうございます。重ねて御礼を申し上げます。

さて今年度は4月の緊急事態宣言に加えまして、2月には再び首都圏を中心に緊急事態宣言が出されるなど新型コロナウイルス感染症拡大による影響が続いております。このため全国的に公共交通の利用者が減少し続けている状況にあります。このような中、市民の生活の移動の核であります公共交通基盤を維持するため本市は各交通事業者への支援金の給付、収束後を見据えた利用促進策に取り組んでいるところです。本日の会議ではまず今年度実施いたしました施策の取組内容についてご報告を申し上げます。次に前回の会議でご協議いただきました『小さな交通需要に対応した交通サービスの導入』について来年度予定している実証実験の具体的な運用内容についてご提案を申し上げます。委員の皆様それぞれ専門分野からご意見をいただきたいと思っております。結びに委員の皆様には公共交通機関を更に活性化させるための活発な提案や議論をお願いいたしまして挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

事務局 : それでは議事に入ります。要綱第6条第1項に基づきまして会長が当会議の議長を務めることになっておりますので宇佐美会長、議事進行についてよろしくお願いいたします。

宇佐美会長 : はい。よろしくお願い致します。すみません遅れました。それでは議事に入りたいと思います。今日は大きく2つですね。それでは『(1)滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取組状況について』説明をお願いします。

## 3 議事

### (1) 滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取組状況について

事務局 : ～「滝沢市地域公共交通網形成計画の施策の取組状況について」を【資料1】により説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。今の説明に対して何かご意見等はございますか。

佐藤(利) : 11頁のバスロケーションの説明ですが、岩手県交通さんで78台、県北さんでは委員 85台、金額が逆転しているような気がしますが、その辺の説明をお願いします。

宇佐美会長 : お願いします。

事務局 : 11頁の金額の違いに対してですね。各事業者さんでGPSの車載器の規格が違いまして、県交通さんの方が高いので台数は少ないですが金額が上回ってしまいます。GPS設置費用に対して1/3を補助する形になります。

宇佐美会長 : ざっくりですが片方が8万円、もう一方が4万円くらいになりますので今後の展開として気になるところです。佐藤委員よろしいでしょうか。

佐藤(利) : 普通補助金を出すのなら同じような機種や金額で高すぎたり安すぎたり隔たりがないようにするべきだと思います。導入する事業者に対して性能が変わらない機械に同じように補助金を出した方が良いのではと思いました。

宇佐美会長 : ありがとうございます。他に何かございますか。

- 小野寺 委員 : 取組のところで教えていただきたいと思います。
- ① 3頁目の交通マップについてです。  
現在作成中で4月以降の転入者に配布となっていますが、作った交通マップを転入者以外の市民が持って行けるようにします、という予定があれば令和3年度を取組ですが教えて下さい。
- ② 9頁目の「IGRすきになっちゃうガイド」についてです。  
非常に面白いなと思って聞かせてもらいました。どんなガイドなのか詳しく教えていただければと思いました。
- ③ 12頁のデジタルサイネージについてです。  
サイネージに表示される情報がイメージだと時刻表みたいなのが出されていますが、そういう情報だけなのか一般的な情報を含めて提供するのか教えて下さい。
- ④ 16頁の回数券補助事業についてです。  
地区別申請者数のところに青字は学生申請数となっていますが学生というのは大学生のことでしょうか。  
青字が盛岡市とその他市町村で大体占めていると理解した時に、滝沢市以外にお住まいになっている学生が使われる回数が多かったという理解でいいのか。教えていただければと思いました。  
以上です。
- 宇佐美会長 : よろしくお願ひします。
- 事務局 : ①市の主要施設に設置する予定で考えています。ビッグルーフや市役所に設置して持って行けるようにします。  
②車、バス、電車の比較や電車内のマナー、“電車はどうしてガタンゴトンというの？”という小学生向けの内容で記載しています。クリアファイルに載せているような乗り方をガイドの方にも記載しています。  
③イメージで載せているものの他にバスの遅れを表示する予定です。バスロケーションシステムと連動した内容がこの画面にも表示される予定です。
- 宇佐美会長 : 遅れだけではなく、いつ頃到着するかも含めた予報ですか？
- 事務局 : はい、到着予想時刻が画面に表示されます。
- ④ここでいう学生は県立大学と盛岡大学の学生を示しています。県立大学と盛岡大学の学生は滝沢市に住んでいない方も対象としていますので盛岡市やその他の市町村に住んでいる学生がこの青い部分になります。
- 宇佐美会長 : ちなみに巣子だとどこに入りますか？
- 事務局 : 巣子は川前に入ります。
- 宇佐美会長 : はい、分かりました。  
ちなみに「IGRすきになっちゃうガイド」はどんな風に企画を練っていますか。
- 事務局 : 企画の内容はIGRさんと、今年度は学生アルバイトの方に来ていただいたので学生のアイデアも参考にして作成しました。
- 宇佐美会長 : ありがとうございます。他にいかがですか。よろしいですか。  
では次の議事に入りたいと思います。『(2) 小さな交通需要に向けた実証実験について』ということで事務局より説明をお願いします。

(2) 小さな交通需要に向けた実証実験について

[小さな交通需要に対応した交通サービスの検討]

- 事務局 : ~「小さな交通需要に向けた実証実験について」[小さな交通需要に対応した交通サービスの検討]を【資料2】により説明~
- 宇佐美会長 : はい、ありがとうございました。今の説明に対して何かご意見ご質問ありましたらお願いします。
- 大野委員 : ① 11頁の予約が前日16時までとなっていますが、朝8時に出発と決まっています。8時にどこを出発するかはこれからの調整になると思いますが、8時に予約が集中した際に台数制限がありますので、このハンドリングをどうするか事前に各地域の方達と調整をお願いしたいと思います。多分、相当の方が8時に出たいというリクエストがあろうかと思っています。順番にするのか前の日に予約をもらった人を優先にするのか当日なのかルール付けも含めて調整をしていただく必要があると思います。よろしくをお願いします。
- ② 12頁の「③私的に専用車両を拘束しない」という項目で「買物・私用は利用前に済ませる」とありますが、タクシーを利用する場合途中で買い物をすることは避けられないものだと思います。10月の月・水・金ということは偶数月なので10月15日(金)が年金支給日になります。この日は銀行や郵便局によって年金をおろしてから買い物に行くというリクエストが相当予想されます。この辺もある程度事前に調整していただければと思いますのでよろしくをお願いします。
- 宇佐美会長 : ありがとうございます。いかがでしょうか。
- 事務局 : 詳細の内容についてはタクシー事業者様と協議させていただいて市民の方が使いやすい仕組みにしたいと思います。あとデータ取得が目的なのでその辺を勘案しながら決めていきたいと思います。ありがとうございます。
- 宇佐美会長 : ①朝の8時に限らずどの時間帯でも被った場合を考えておかないといけません。
- ②年金の方は確かにそうです。
- 大事なのは市街地で2回降りたら基本終わり、また別の移動をする時は市街地内で使える公共交通手段を利用するという理解でいいでしょうか。
- 他はいかがでしょう。
- 佐藤(光)委員 : ① 14頁「②乗務員・配車担当判断の相乗りはさせない」分かるようで分からないのでどういうことなのか教えて下さい。
- ② 14頁「③ルール外の移動は通常のタクシー利用へ」のルール外とはどのようなことでしょうか。

佐藤（光）  
委員

③7頁「実証実験の運行内容」ということで色々載っています。

滝沢市では高齢者、福祉関係者、通院関係で現在市内に患者輸送バスが走っています。これらと小規模の公共交通はあまり関わり合いがないのか、あるいは被るようなことはないのか、その辺をどう把握していますか。高齢者や福祉関係者、通院者というのはそれぞれかかりつけ医があると思います。それもなかなか難しくなるのではと予測しました。タクシーを利用する場合にこれらの関係、結構細かい課題がある気がします。柳沢と姥屋敷に地域が限られていますから、福祉バスと患者輸送バスの利用状況はどうなっているのか関係各部所で調べて擦り合わせる必要があると思います。そしてどれが1番柳沢と姥屋敷の高齢者や通院者等々に便利か、どういうバスとどういうタクシーを利用するのが良いか考えておいた方がいいと思いますが、その辺はどうでしょうか。

以上です。

宇佐美会長 : お願いします。

事務局 : 3つご質問いただきました。

①相乗りについてですが、説明が不十分でした。

利用者同士で「明日病院に行くから一緒に行かない？」という調整は可能とさせていただきますが、予約状況を見て乗務員が「相乗りで行ったらどうですか？」という提案は今回しません。正確なODを取りたいということと、その方が1人で行きたいという状況に対して乗務員が調整すると本来の需要を把握できなくなるので今回はそうさせていただきます。

②ルール外の移動については『滝沢市外への利用、市街地間での利用、福祉タクシーの対象となるような不自由な方の利用』です。不自由な方の利用というのは今回通常タクシーの利用を想定していますので、そういった方々の利用は今回対象外とさせていただきます。

③患者輸送バスとの関係ですが、ご意見頂いた通り病院に行く目的については重なってくるので当然患者輸送バスと同じようなサービスになってしまいます。今回実証実験を踏まえて担当課と協議して市としてどういったサービスが1番効率的か検討していきたいと思います。以上です。

事務局 : 補足させていただきます。

③ご意見ありがとうございます。ご指摘の通りだと我々も考えています。まずは実証実験のなかで色々なデータをとります。患者輸送バスを運行する日としない日というようにあえてそういう仕組みにしています。その成果が出た後にその仕組みを有料で行いたいと考えています。現在の患者輸送バスは無料なので他の地域の方からすると、かたや病院に行くのに県交通さんで300円払い、かたや無料だという不公平感もあると思います。福祉バスも200円の有料で運行しています。そういう中で、それぞれの利便性や負担感を総合的に判断して次のステップに向ければと考えています。

議会等でも交通弱者の問題と合わせて免許返納者という話題も出されております。そういったところも含めてこの実証実験の成果を基に総合的に検討して、あるべき交通というものを考えていかなければなりません。

- 佐藤（光）委員 : ありがとうございます。分かりました。それと福祉バスに通院の人も若干は乗っているようです。それと最近、滝沢中央病院が輸送バスをやめたという話がありまして利用者の人達は色々な思いがあるようです。そういう話をしていますが、どうも役所の担当ポジションによって考えが違ふようです。ざっくばらんに話すことが欠けているのではという気がします。その辺の擦り合わせをしっかりとさせていただいて、利用者第一で対応して欲しいです。福祉関係者、交通弱者の人達ですので良く考えていただきたいです。以上です。
- 事務局 : ありがとうございます。今お話されたように市民の視点から見るとどこでも同じ話だと思います。今回、網形成計画から始まって動きだしたものです。今お話された部分を含め今回実証実験を通じて限られた資源、事業者様のご協力、財源をフル活用して皆が納得出来るよう目指して取り組んでいきます。ありがとうございます。
- 宇佐美会長 : ありがとうございます。
- 伊藤委員 : 計画表をみますと令和3年度までが協議会、令和4年度から実施ということです。そうすると今回の1ヶ月のデータを基にして来年度から実施するという予定なのか期間を伸ばすのか考えがありましたら教えて下さい。
- 宇佐美会長 : お願いします。
- 事務局 : 実証実験の結果を踏まえて実施については検討していきたいと思います。
- 事務局 : 時期ということで私の方から答えさせていただきます。10月実証実験をしてすぐに仕組みを構築して令和4年度からというのは難しいと考えています。それぞれの分野の皆様と結果を踏まえた調整などに相当時間がかかるものと思っていますので、現段階で令和4年度からの実施というものは考えていません。では令和5年度からかという現時点では未定だと考えています。まずは利用される方々と交通事業者さまを含めた合意形成が大事だと思っています。ではあと5年後なのか何年度なのかということではなく、きちんと整理して合意形成を行い“早い時期”という表現をさせていただきます。
- 伊藤委員 : 分かりました。そうすると令和4年度にまた実証実験を行う可能性もある、ということでしょうか。何とも言えませんか。
- 事務局 : 1回の実証実験で収集データは取りたいと思っています。といいながらも実際に実施してみなければ善し悪しが分からない部分があります。やるということでもなくやらないということでもなく結果を見ながら進めて行きたいと思っています。出来れば1回で実験は済ませたいと考えています。
- 伊藤委員 : 利用する方がタクシーを無料で使えるということで非常にお得感があると思います。またやってくれたら違ってくるのではということでの質問でした。以上です。
- 事務局 : 今回も無償です。今言われたようなご懸念はその通りだと思います。無償にすることで最大値のデータをとりたいので事前の説明が大事だと思っています。紙を広報で回すのではなく、実際に地域に入って各自治会の皆様とご相談しながら十分理解を得たうえで実証実験を行いたいと考えています。

宇佐美会長 : ありがとうございます。  
今回、網形成計画が令和4年度までというのが大きいと思います。来年度しっかりデータをとって再来年度には福祉バス、患者輸送バス、民間バスも踏まえて令和5年度からまた次の計画になっていくと良いのではと思います。  
他にいかがですか。

1つ確認ですが、姥屋敷と柳沢の小需要地域内の移動はどう扱われますか。

事務局 : 小需要地域内の移動は可能としています。

宇佐美会長 : とした時にどこからですか。発地は自宅として着地はどうなりますか。

事務局 : 市街地では用途ごとに指定していますので検討して詰めていきたいと思っています。

宇佐美会長 : 打合せをしている時は気付かずに今気が付きました。

他にいかがですか。

では、今の点と市街地内での降車場所や時間が集中した時など色々と課題はありますが、概ねこの方法で進めていくということではよろしいでしょうか。

一同うなずく。

宇佐美会長 : はい、ありがとうございます。ではよろしくお願いします。

### (3) その他

宇佐美会長 : 最後に「(3) その他」なにかありますか。よろしいですか。

それでは全ての議事が終了しました。今回も活発なご議論をありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しいたします。

事務局 : 宇佐美会長、議事進行ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても貴重なご意見賜りましてありがとうございました。これからも検討していきたいと思っています。

### 4 その他

事務局 : 続きまして、「次第4 その他」皆様から何かありますか。

大野委員 : 時期的なものなので分かる範囲で教えて下さい。

新型コロナウイルスのワクチン接種に関する移動手段などは把握されていますか。

三河委員 : 本部長をやっていますので私の方から答えさせていただきます。今のところ輸送を専門業者に頼むのか、市役所の職員が各医療機関に配るのか決まっていません。報道によると特殊な運搬が必要であるとの意見もありますのでそこを含めて情報収集中です。

事務局 : いいですか。他にありませんか。それでは閉会にあたり都市整備部長の齊藤よりご挨拶申し上げます。

## 8 閉会

事務局 : 改めて齊藤でございます。本日はお忙しい中お集まりいただき活発にご審議いただきまして誠にありがとうございました。感謝を申し上げます。

またこの場をお借りして令和2年度の各種事業について岩手県様の地域経営推進費を活用してサイクルポートや様々な事業展開をさせていただきました。この件についても改めてお礼を申し上げます。ただいま色々なご意見をいただいた小需要交通について更なる制度設計を行い、また利用する地元の自治会様と連携を取り、よりよい形を作り上げるために実証実験をしていきたいと考えています。今後とも皆様のご意見等賜りたいと考えています。本日は大変ありがとうございました。今後ともご指導よろしく申し上げます。

事務局 : 以上をもちまして第13回滝沢市地域公共交通会議を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。